

公益信託世田谷まちづくりファンド
第18回（平成22年度）助成事業審査講評
【 まちづくり活動部門（3回目） 】

〔 3-1 読書空間みかも 〕

運営委員長 土肥真人

この4月から地域共生の家としてもスタートされたとのこと、おめでとうございます。多彩で数多くの活動には感心するばかりです。またその場所が近代建築であるとのこと、活動をとおして地域になじんだ古い建物を守られていることにも敬意を表します。「個人宅でも公共施設でもない」ところにも公共的役割があるのだから公的資金の応援があってもいいのではと、来年のことなど考えてしまいました。

運営委員 板垣正幸

地域の居場所としてしっかり定着し大変活発に活動されていると思います。まちづくりは、継続するためには自立することが重要であると思いますが、貴会には十分そのエネルギーがあると感じました。

運営委員 市川 徹

これまでの地道な取り組みと地域からの応援で、利用者も徐々に増えているようで何よりです。このまま助成金がなくても運営できるまでいけばよいですが、後もう一步、何か自立につながるようなヒントやしかけを得られるようにがんばってください。維持するための家賃などが大変でしょうが、ぜひ運営を続けていってほしいと思います。

運営委員 鵜尾雅隆

5年目に入った活動ですが、まちづくりファンドの支援もうまく活かしつつ、関わる人の広がりが出てきている様子が心強いです。いよいよ3年目ですので、参加者数や会員数の増加を通じて、みかもに触れる人、関わる人をしっかりと増やす1年にしていきたいことを期待しています。

運営委員 小河原孝生

1年目は掲示板やリーフレットなど、情報発信の手段が整備され、昨年は音楽会などのイベントが充実して、利用者が増加しているとのこと。今年は地域共生の家として、地域とのつながりを広げ、経済的にも自立することを期待しています。満額です。

運営委員 小原美穂

資料を拝読し、記憶の伝承を目指しているとのこと。建物の強みを引き出すような工夫がまだできると思います。その土地の記憶、ゲニウスロキ、という言葉がありますが、ぜひ、世代をつなぐ活動を通じて記憶の伝承を行っていただきたいと思います。

公益信託世田谷まちづくりファンド
第18回（平成22年度）助成事業審査講評
【 まちづくり活動部門（3回目） 】

運営委員 影山知明

活動に携わるメンバー32名というのはすごいですね。ただ逆に、少し活動が内側に向かってしまっているという面はあたりしないでしょうか。会費収入、イベント収益等にチャレンジされているご様子も素晴らしく、経済的自立へのひとつのモデルとして、今年度の活動に期待したいと思います。

運営委員 佐谷和江

スペース貸しによって持続可能な運営ができそうですし、このような地域の居場所が継続することは、とても意義があると思います。最後の年の活動も充実することを願っています。

運営委員 首藤万千子

文化の香り高い活動だと思いました。ご近所の様々な世代の人たちを場がつなぎ、地域の大切な場所になっていることが想像できます。自立に向けて努力されていることもよくわかります。今年度の活動に期待します。

運営委員 福永順彦

自分の家を公共的に開いていく、その取り組みに敬意を表するとともに、運営方法を工夫し、居心地のよい場所づくりに取り組んでいることが良く伝わってきました。今後ともぜひ、継続していただきたく、満額票を入れました。

公益信託世田谷まちづくりファンド
第18回（平成22年度）助成事業審査講評
【 まちづくり活動部門（3回目） 】

〔 3-2 塚戸小学校 おやじの会 〕

運営委員長 土肥真人

まちづくりでよく言われるのは、働く世代の男性の欠如です。そろいのTシャツで働き盛りの男達がずらっとならんで、まちを、地域をささえるのは俺達だ、なんて言っているのを聞くと本当に心強く、そしてうれしくなります。今年の課題のひとつお母さんの理解を得られるよう、期待しております。

運営委員 板垣正幸

学校での活動から地域活動への参加、さらに他の団体とのネットワークも拡大していることが素晴らしいと思いました。父親パワーで、子供たちを元気にし、地域を元気にし、世田谷を元気にして下さい。

運営委員 市川 徹

活動の充実ぶりや広がりから言うと、今回のファンド申請団体の中では随一ではないでしょうか。もはや1校の枠を超えて、地域のおやじの会となりつつある印象すらあります。今回でファンドはいったん卒業ですが、これからの活動も安心して見守ることができそうです。おやじの会の地域モデルとして、他校にもうまく波及していくといいですね。

運営委員 鶴尾雅隆

おやじの会として、活発に地域や他のおやじの会との連携を図っておられる様子がとても印象的です。おやじの会のモデルケースとして、是非、引き続き頑張ってください。

運営委員 小河原孝生

はじめの一步から着実にメンバーも増え、活動範囲も地域に広がり、まちづくり活動として定着しています。また、自立のための効率の良い資金調達と使い方、会員の育成、お母さんたちの理解の促進方法など、全国の「おやじの会」のモデルになることを期待しています。満額です。

運営委員 小原美穂

小学校という枠を飛び出して活動されているのはなかなか例がないと思います。今後は、この活動を通じて蓄積されたノウハウを、他のおやじの会等へ伝授してみてもいいでしょうか？たこ焼きの上手な焼き方から、こういった会のマネジメントスキルに至るまで、参考になることがいっぱいあると思いました。

公益信託世田谷まちづくりファンド
第18回（平成22年度）助成事業審査講評
【 まちづくり活動部門（3回目） 】

運営委員 影山知明

公開審査会に10名ものメンバーが参加されているご様子に、活動のエネルギーを感じました。みなさん楽しく、やっていたらっしゃるご様子が伝わってきて、これこそまさに人を引きつける力なのだろうと感じました。

運営委員 佐谷和江

地域的な広がりや人的な広がりを感じました。今年も元気な活動を期待しています。

運営委員 首藤万千子

おやじならではの楽しさが伝わってくる活動だと思います。とても活発でそれが他団体へ波及している様子がわかります。自立への努力も目覚しく、皆さんの活力ある姿勢が学校、特に子どもたちに伝わっているのではないかと思います。今年度もがんばってください。

運営委員 福永順彦

忙しい世代の方々が地域でつながる、と言うのは簡単ですが、実際に難しいことがたくさんあると思います。これだけの人数が継続していろいろな活動に参加されており、とても楽しそうにされていることが伝わってきました。おそらく、いろいろなノウハウがあるのだろうと思います。他の会にも広げていただければと思います。5票の制限の中で、満額票を入れなかったのが私ひとりで、ちょっとだけ「しまった」と思いました。